

# 支所 利用が減ったから廃止は一方的な主張です

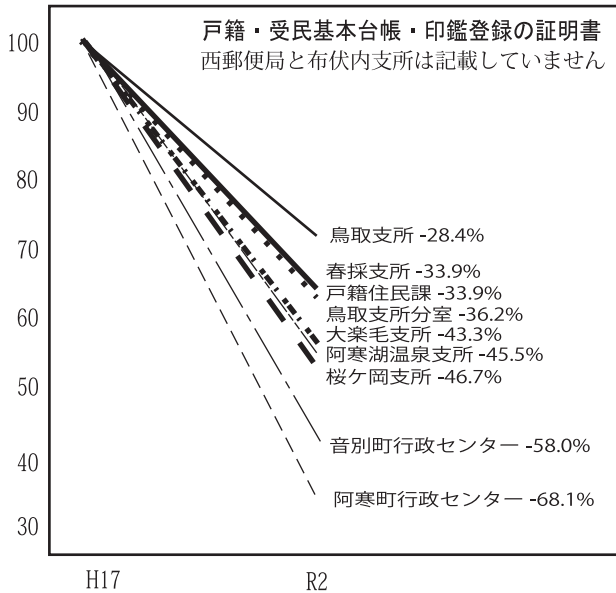
市は、「大楽毛、春採、桜ヶ岡支所と分室の取扱件数が、H17年度と比べR2年度は61・5%も減っている。コンビニ交付などの代替措置も整ってきたので廃止する」と説明しています。実はこの説明は世論を誘導するため、都合のいい数字を抜きだしたなものです。

それ以外のものは、窓口によって取扱の有無がありますので、比較するには無理があります。

戸籍・住民課や行政センターの窓口も含めて、戸籍・住民基本台帳・印鑑登録の証明書の発行件数を比べてみましょう。

	H17	R2	比較
戸籍住民課	238,903	157,855	-33.9%
鳥取支所	64,914	46,482	-28.4%
鳥取支所分室	6,602	4,215	-36.2%
桜ヶ岡支所	16,280	8,684	-46.7%
春採支所	15,166	10,027	-33.9%
大楽毛支所	18,965	10,754	-43.3%
釧路西郵便局	2,890	1,577	-45.4%
阿寒町行政センター	9,585	3,056	-68.1%
阿寒湖温泉支所	2,163	1,178	-45.5%
布伏内支所	71	廃止	
音別町行政センター	4,245	1,785	-58.0%
総計	379,784	245,613	-35.3%

## H17年を100とした各窓口での発行件数



19・4、桜ヶ岡19・3%減。取扱件数が市の平均を上回ったとしても納得できます。

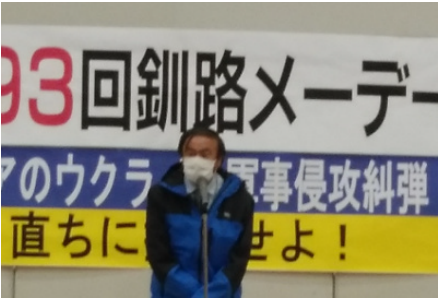


## 「遠くの本庁より 近くの支所」

説明会で、こう発言して笑い拍手を受けた方がいました。「住民票の発行だけでなく、人と人が会って相談できるようにしてほしい」「もっと市民に寄り添って相談できる支所に」市民が支所に望んでいるのは、住民の困りごと、地域の課題に寄り添い、解決のために本庁にもつなげていく「懸け橋」としての役割です。

「支所にモニターを置いて、本庁と直接やり取りできるシステムをつくってほしい」との意見も出ました。私が本会議で提案した中身とも重なります。

## 釧路メーデー集会で訴え



5月1日メーデー釧路集会で、日本共産党釧路地区委員長の村上市議が、ロシアのウクライナ侵略に厳しく抗議。憲法9条を守り、平和外交を進める決意を発言しました。また、参院選では、政治の責任で労働者の賃上げを実現することを公約にがんばると締めくくりました。

(60秒スピーチから)

## 遠いからこそ支所

市役所から遠くて不便だからこそ支所。発行件数が大きく減った阿寒や音別に廃止論がないのは当然です。3支所1分室が特別大きく減らしているわけでもありません。

H18年3月からR2年3月まで市の人口は13・4%減りました。大楽毛28・1%、武佐

## 鳥取支所は375万円別の経費がかかる

支所廃止で支出が軽減できると説明しています。実は廃止対象でない鳥取支所だけが賃貸物件、年間賃料375万円。経費削減を言うなら鳥取支所をはずすのは理屈が通りません。市役所にも一番近いのですから。

私は鳥取支所も絶対必要と考えますが、市の説明はあまりにもご都合主義です。

説明会で鳥取支所を例外とすることに反対と発言した方がいました。鳥取支所だけを残すことで市民の行政サービスに不平等が生れるのと考えていた。こうした問題があることもぜひ、皆さんに考えていただければと思います。



春採支所